

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 3月 10日

事業所名

ドリーム・ノア

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2	・テープ等で仕切りを行っている。	・長期休暇時、児発利用者と共通スペースとなる為、外出や相談室を使いスペースを確保したい。
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3		トイレ等手すりは付いていないが、現在必要な利用者はいない、必要になる場合に検討します。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1	・朝のミーティング時や帰りの送迎後、各職員が意見を出し合い業務改善に取り組んでいる。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2	・業務以外にもアンケートを行い業務改善に取り組んでいる	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3		・会報やHPでの公表は無いが、評価結果や改善内容の周知及び提示は行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	6		・第三者による外部評価は受けていないが、各関係機関や保護者の意見を取り入れて改善に繋げている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	・事業所内で年2回以上研修を行っている。	・コロナ感染予防の為、外部研修は控えている。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		・アセスメントシートを用いている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		・職員間で意見を出し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		・利用者や保護者の意向を積極的に取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	・都度、利用児や保護者と相談して設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	・適宜モニタリング及び計画の見直しを行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	・毎朝ミーティングを行い、確認や周知、役割分担の打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	・送迎後、職員間で保護者からの意見を周知、共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		・記録は当日内に残すように周知している。	
	18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		・定期的にもモニタリング及び計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		・学校との情報共有は、毎週配布される通信や、保護者を通じて行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	1		・現在、医療的ケア、重心利用者の受け入れは行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2	・各関係機関との連携・情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	3		・実績はないが必要であれば各関係機関との連携・情報共有を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	6		・コロナ感染予防の為、電話での助言は受けているが外部研修は控えている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		・コロナ感染予防の為、控えています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		7		・コロナ感染予防の為、控えています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・連絡帳や電話、送迎時に行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		・コロナ感染予防の為、集団で接する機会は控えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		・2か月毎に保護者の方へ向けた通信を配布しています。	
	35	個人情報に十分注意している	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		・コロナ感染予防の為、集団で接する機会は控えています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		・年2回児発と合同で行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		・年3回以上の研修会を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	6		・現在、アレルギーを持つ利用児がいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		・翌日以内に情報共有を行っている。	